

2024年度 活 動 実 績 報 告 書

2025.02.16（敬称略）

No.	月	日	曜日	行事	場 所	講師	天候	主担当者 (案内作成)	観察菌種	参加人数	観 察 報 告
別枠	3	31	日	新入会員学習会 兼下見	宝ヶ池公園	—	晴時々曇	三役	約20種	新会員2名 在会員8名	土佐運営幹事の指導の下、実地観察を行った。オオセミタケ採取体験も実践できた。きのこは少なめだったが例年のきのこはほぼ出揃っており、担子菌・子囊菌の両方が観察出来たのは学習に効果的だった。桜の蕾はまだ硬く、花見客が少なく観察には都合が良かった。
1	4	6	土	観察会 No.1	宝ヶ池公園	丸山先生	晴	木村	25種	会員23名 一般 1名	早春のきのこオオセミタケ、トガリアミガサタケ、ツバキシンカクチャワンタケが今年も観察できた。子囊菌は10種だったが例年より個体数は少なかった。全体的にきのこの発生が少なかったが、丸山先生に顕微鏡で胞子を見せて頂くなど、効果的な学習ができた。
2	5	25	土	観察会 No.2 交流会	けいはんな 記念公園	—	晴	畑中	42種	会員16名	午前中の観察会では多くの興味深いきのこに出会えた。講師はいなかったが下下見をするなど入念に準備をして臨んだこと、参加人数が少なかったことなどで観察が効果的にできた。午後の交流会は最初に小グループで話し合いをもとに全体のまとめに入っしたのは良かった。きのこへの想いや取り組みが発表され、会員の持ち寄ったきのこ関連グッズに話の花が咲いた。
3	6	23	日	観察会 No.3	若山神社周辺	丸山先生	雨	西	58種	会員24名 一般 9名	キヌガサタケを複数、間近に観察することができた。雨の中ではあったが、白、ピンク、紅、ムラサキ、黒など色とりどりの新鮮なきのこが観察できた。2班に分かれて観察したが、歩きやすいコースを選んだのが良かった。雨天だったので昼食、同定会場に神社の研修室を借りることが出来たことは幸運だった。早い目の行動を心掛け、スムーズに終了できた。
4	7	21	日	観察会 No.4	龍谷の森	丸山先生	快晴 (猛暑日)	土佐	72種	会員27名	今回は熱中症と1週間前の豪雨被害場所を回避してのコースを選択。観察きのこの種類は例年並みだが、個体数は非常に少なかった。リュウコクヒメベニタケは多数観察できたがウスキシキガサタケは1本のみで、虫害にあい、無残な姿となっていた。今後、観察時間を早める(8時開始が望ましい)などの工夫が望まれる。同定をまず会員によって行い、カードに記入し、講師の先生に確認して頂くという方法にした。龍谷大学・横田先生のご協力によって7号館教室が借りられたのは幸運だった。
5	9	14	土	観察会 No.5 実習行事 ①	大泉緑地公園	丸山先生	晴	太田	18種	会員17名 講座生15名 一般 2名	異常な暑さと乾燥により発生きのこは非常に少なかった。コフキサルノコシカケ、マンネンタケのような硬質菌が目立つ中で、キツネノタイマツが1本観察できた。チップからの群生もイロガワリシロカラカサタケ位で、いつもの大泉緑地らしさは影を潜めていた。丸山先生が持ってこられたツキヨタケや顕微鏡での観察が経験できたのは有難かった。
6	9	21	土	合宿	日和田高原	丸山先生	曇 時々小雨	大下 幸野 松尾	75種	会員18名 一般 7名	21日は白龍神社と柚が池周辺を観察。関西ではあまり見られないドクツルタケ、ヒメベニテングタケなどが見られたが、カエントタケの幼菌があったのには驚いた。22日はロッジ裏キャンプサイトでの観察。雨の中での観察になったが、ヤマイグチ、クロチチタケ、ツノシメジなど日和田高原らしいきのこにも出会えたが、残念ながらベニテングタケはどこにも見当たらなかった。豪雨のため、基本的に採取は行わず、11:00より丸山先生の総評の後、13:00に現地を出発し、予定通り17:35に京都駅着となった。
		22	日				雨 時々豪雨		60種		
7	10	12	土	観察会 No.6	室池園地	丸山先生	晴	田村	69種	会員14名 一般 1名	この夏の高温のせいか大型菌は少なかったが、きのこの種類は多かった。観察場所は内回りファミリートレイルコースで比較的短い距離だったので余裕を持って観察することができ、同定終了も予定より早かった。一般の入園者が多く、昼食を予定していた森の工作館は満員だったので、外のテーブルで昼食を摂った。
8	10	20	日	観察会 No.7	有馬富士公園	丸山先生	晴	奥田(良)	58種	会員16名	例年より1か月遅い時期となったためか、カメムシタケは見つからなかった。入口付近でテングタケを観察した後は、キツネタケ、チシオタケ、モリノカレバタケなどの小さなきのこが多かったが、ニガクリタケの鮮やかな黄色の群生が美しかった。最後に丸山先生からきのこの胞子紋の取り方を教えて頂いた。
9	11	10	日	観察会 No.8 実習行事②	けいはんな 記念公園	丸山先生	晴	田中(靖)	74種	会員21名 講座生 2名 一般 1名	様々な形態のものを観察できたが、特にイカタケとの出会いは印象的だった。テングタケ属のきのこもまだ多く見られた。研修室での同定会では先生持参の図鑑や顕微鏡での観察、胞子紋の取り方等で時間が経つのを忘れた。水景園及び芽吹ききの森周遊コースでの観察は珍しいきのこも発生しており種類も豊富なのだが、採取禁止の公園であるため同定には難しさがある。
10	12	15	日	役員会、学習会①	長岡京市中央生涯 学習センター	斎木先生		三役	—	役員会 8名 学習会18名	午前中の役員会では2024年度活動実績報告・会計報告、2025年度活動計画・予算案、及び新役員体制について討議を行った。活動計画では新入会員学習会は第1回観察会と併行すること、生駒山観察会を定例観察会にいれることになった。午後は学習会で斎木達也先生の講演をお聴きし、その後の交流会では今後の合宿のあり方について意見を出し合った。
11	2	16	日	発表会、学習会② 総会	長岡京市中央生涯 学習センター	斎木先生		三役	—	会員27名 一般 1名	午前中の発表会では6名の会員から発表があった。午後の学習会では斎木達也先生の8回目(最終回)の講演。実物きのこ、映像などを交えての楽しい学習会で、先生のきのこ観察記録ノートも拝見できた。総会では今年度の報告事項の後、次年度活動計画、予算案、役員案が審議され、提案通り可決された。合宿については役員会に一任された。
別枠	10	22	火	自主観察会① (次年度の 下見を兼ねて)	生駒山	—	晴	松尾	約60種	会員13名 一般 4名	テングタケ属、イッポンシメジ属、フウセンタケ属、アセタケ属、ベニタケ属、チチタケ属など、約60種の多様なきのこが見られた。まだ、夏のきのこが多かったので、秋のきのこの観察会としては11月中旬位が良いと思われる。来年度もケーブルで往復、創土庵できのこ料理を楽しむというコースが良いのではないかな。
		11	12	火	自主観察会②	橿原神宮	—	晴	松尾	39種	会員 4名